

二〇二一年度入学試験問題

国語

試験日 二〇二一年二月四日(木曜日)

開始時刻 午後二時

終了時刻 午後二時

注意事項

- 一、この冊子は十九ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明などがあつた場合には申し出てください。
- 二、解答はかならず解答用紙(マークシート)の指定されたところの番号をマークしてください。
- 三、解答用紙の受験番号欄には、かならず受験番号(七ケタ)を記入し、その番号をマークしてください。
- 四、解答用紙への記入は黒鉛筆を、解答を消す場合は、プラスチック消しゴムを使用してください。
- 五、解答用紙は試験が終了したら、かならず提出してください。
- 六、試験室内で配付された問題用紙は、持ち帰って結構です。

一

次の文章を読み、後の問に答えなさい。なお、設問の都合上、表記を改めたところがある。

情報には常に「ア」がある。そもそも何を発信するかを取捨選択する段階で、すでにその情報に対する価値判断が働いている。^(A)主張が先にあり、その主張を裏打ちする証拠がなかったり、間違っていたりするような報道は、公共の利益を大きく損なうだけだ。不正確な記事で読者を誤った方向へ誘導することは難しくはない。その点で「言論の自由」⁽¹⁾については常に反省を迫られている。

^(B)「言論の自由」は、人間の品位を傷つけない限り、最も大切にされるべき精神的価値の一つではある。その価値を守るために、国家権力の弾圧からの自由という側面がこれまで強調されてきた。しかし「言論の自由」は、国家は悪だという前提から、国家権力の不当な圧迫を警戒すれば事足れり、といった性質のものではない。同じく用心すべきは、はつきり意識されないうまま、社会が醸し出す「空気」によってこの種の自由が侵されてしまう危険だ。異論を唱えにくい雰囲気、^(C)「正義」の装いをまといつつ国民を知らず知らずのうちに思わぬ方向へと誘い込んでしまうことがある。

^(C)一九三〇年代の半ば、英国の小説家、E・M・フォースターがこの点を鋭く指摘している（「イギリスにおける自由」）。「ファシズム」には警戒しなければならないのだが、われわれを脅かしているのは、「持久的ファシズム（Endless Fascism）」⁽²⁾とでも呼ぶべき圧力だと言う。合法的な仮面をかぶった専制精神とでも言おうか。「世論」とそれに迎合するメディアがいつの間にか王様となりプレッシャーをかける。不都合なニュースをもたらず伝令を、王様は殺しかねないのだ。それを予想する書き手や話し手が、進んで「イ」をしてしまうことこそが恐ろしいのだと。こうした事態を回避するためには、新聞だけでなく、少し長期的な視野に立つ議論の場が必要になろう。

一つの方策は、⁽²⁾月刊の論壇誌や週刊新聞の持つ役割を見直すことだ。新聞は迅速なニュースの伝達が本来の使命であるから、どうしても咄嗟^{とっさ}の感情的な反応や関心に傾きやすくなる。テレビの場合は尚更^{なほさら}だろう。「改めて考えてみると」というレベルまで、反省的、批判的に、核心に迫る時間は与えられていない。情報の受け手側は、⁽³⁾短絡的な正義感から生まれる感情を

メディアによって裏書きしてほしいと望んでいる。**D**、メディアのほうも、こうした無意識の欲求に応えなければ、多くの視聴者や購読者の期待にそえないとを考えても不思議ではない。**I**

E 残念なことに、ここ四半世紀で、中長期的な視野に立つ時論を掲載する論壇誌が日本でも外国でもいくつか姿を消した。日本の場合は改めて例を挙げる必要はないだろう。英国の月刊誌 *Encounter* は一九九一年に、米国の季刊誌 *The Public Interest* は二〇〇五年にそれぞれ廃刊になった。論壇誌減少の原因の一つとして、政治や経済の論考自体が、一昔前より一層専門的知識が必要とされる時代になったにもかかわらず、書き手も少なくなり、専門的な議論に関心を示す読者も増えないという事情があるのだろう。言論界を取り巻く状況が「短期決戦型」に変わってしまったのだ。**II**

それでも欧米諸国には、時論の場として週刊新聞が刊行されている国は多い。日本にも類似のメディアが存在するものの、読者層の照準が定まらず、経済的にもその存続が難しいのが現状ではなからうか。ほとんどのニュース媒体の経済基盤は広告収入に大きく依存しているから、メディアがその独立性を維持するのが難しい局面も生じうる。**III**

多くの先進国で若者の一部が新聞やテレビから離れ始めているのは、インターネットの普及のためだけではなからう。画一的な意見や好み、自前の正義感を伝えようとするメディアに魅力を感じなくなったという事情があるのではない。堅実な読者が求めるのは、根拠のない楽観論でもなければ、ただ「権力は悪だ」と言いつのる「正義」を装う悲観論でもない。その双方を越えた長期的なヴィジョン（展望）を意識した議論なのだ。そのためにも、バランスのとれた良質な週刊新聞や月刊の論壇誌の活性化が今ほど必要な時代はない。新聞はデモクラシーに欠かせない言論媒体である。**IV**

^(注)冒頭に例として挙げた「不平等化」をめぐる議論も、**ウ**だけで終わってはならない。いまだ一日一・二五ドル以下の生活を送っている人々が、貧困の罠^{わな}から抜け出るための社会的条件をいかに整えるのかをも合わせて考えるようなヴィジョンを示しあう場が求められている。長期的な視野に立つ論議の場があつてはじめて、悲観論や楽観論の歪^{ゆが}みを克服した確かな時論の展開が可能となるのだ。**V**

（猪木武徳『^{いのき たけのり}デモクラシーの宿命——歴史に何を学ぶのか』より）

(注) 冒頭に例として挙げた「不平等化」をめぐる議論 …… フランスの経済学者ピケティが経済的不平等を測る指標として、高額所得者（例えばトップ一％）の所得が国内総生産に占める割合を用いて行った議論のこと。

問一 空欄 **ア** に入る最適な語句を選び、その番号をマークしなさい。解答欄は **1**。

- ① 真実 ② 狡さ^{ずる} ③ 拘り^{こたわ} ④ 変化 ⑤ 偏り

問二 空欄 **A**、**E** に次の①～⑤の語をすべて一度だけ用いて補ったとき、空欄 **B**、**D** に入る最適な語を選び、その番号をマークしなさい。解答欄は **B** が **2**、**D** が **3**。

- ① しかし ② 確かに ③ 一方 ④ すでに ⑤ まして

問三 傍線部(1)「『言論の自由』についてわれわれは常に反省を迫られている」とあるが、本文から読み取れる、行ってはい

けないこととして、最も不適切なものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 4。

- ① 世の中の風潮に合わせようとして、不都合だと思うニュースを自らで制限して報道しないこと。
- ② 異論を唱えにくい雰囲気をつくり出し、世論を一つの方に誘導していくような報道をすること。
- ③ 大切な精神的価値である「言論の自由」を守るために、国家権力に屈することなく報道すること。
- ④ 何を報道するか段階で主観が働いているのに、報道は公正中立であると認識して報道すること。
- ⑤ 確たる証拠を持っているわけではないのに、自らの主張を声高に訴えかけるような報道をすること。

問四 空欄イに入る最適な語句を選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 5。

- ① 自己弁護
- ② 自己批判
- ③ 自己満足
- ④ 自己犠牲
- ⑤ 自己検閲

問五

傍線部(2)「月刊の論壇誌や週刊新聞の持つ役割」とあるが、それはどのような役割か。その説明として最適なものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 6。

- ① さまざまな異なった主張を無批判に単に伝えるのではなく、絶対的な主張を提案するという役割。
- ② 単なる悲観論や根拠のない楽観論に陥らず、長期的な視野で議論を行う場を提供するという役割。
- ③ 広告収入に頼ることなく独自の経済基盤を持ち、自らの正義感に基づいた主張を行うという役割。
- ④ 情報の受け手が日ごろから抱いている正義感を裏付けるような専門的知識をもたらすという役割。
- ⑤ 言論界を取り巻く状況が短期決戦になっているので、それに対応した展望を提示するという役割。

問六

傍線部(3)「短絡的な正義感」とあるが、これはどのような正義感か。その説明として最適なものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 7。

- ① 個々の事情を勘案せず、画一的に発想された正義感。
- ② 瞬間的に事の本質を見抜いた上での正義感。
- ③ その場の雰囲気の流れによって出てきた正義感。
- ④ 筋道立てて考えず、単純に導き出された正義感。
- ⑤ 理想を持つことなく、現実に拘泥した正義感。

問七 空欄 **ウ** に入る最適なものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は **8**。

- ① 富裕階級に対する反発心を煽る^{あお}
- ② 貧困階級に対する期待感を高める
- ③ 富裕階級に対する畏敬の念をもたらす
- ④ 貧困階級に対する差別意識を醸成する
- ⑤ 富裕階級に対する無知を表明する

問八 次の一文を挿入する場所として、最適なものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は **9**。

しかし週単位、月単位でわれわれの長期的ヴィジョンを磨き上げるメディアも同じく不可欠なのだ。

- ① **I**
- ② **II**
- ③ **III**
- ④ **IV**
- ⑤ **V**

問九 本文の内容に合致するものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 10。

- ① 資本主義社会では経済的不平等が進行しているので、早急にこれを解消する議論を行わなければならない。
- ② 迅速なニュースを伝達するメディアだけではなく、確かな時論を展開するメディアが今必要とされている。
- ③ 国家主義的・全体主義的な政治理念であるファシズムに対抗するためには、新聞やテレビでは力不足である。
- ④ 先進国の若者の間には政治的無関心がはびこっており、新聞を読んだり、テレビを見たりしなくなっている。
- ⑤ 情報の受け手は専門的知識がなく考える力も不足しているので、メディアが啓蒙^{もくもう}していかなければならない。

二

次の文章を読み、後の問に答えなさい。なお、設問の都合上、表記を改めたところがある。

荻生徂徠は「温故知新」をどう読んだのでしょうか。

徂徠は『論語徴』において「温」の解釈については朱子も仁斎も間違っていると言います。「温」と「尋」が同義だといふけれど、それは中国古代の春秋時代における「温」という漢字の使われ方の研究が足りないゆえの誤読だといふのです。

では徂徠は「温」を何だといふのか。同義なのは「習」だと、徂徠は考えます。朱子や仁斎では「温故」は「習ったことを復習する」意に解されますが、徂徠だと「故」を習うのが「温故」になります。復習ではないのです。「故」をさまざまなかたちで学ぶことは、どれもみんな「温故」なのです。

では「故」とは徂徠においては何か。徂徠は、朱子と同じく宋の儒者だけれども年代では朱子に先んじる邢昺の『論語』の注釈で「故」を「旧学び得たる所」としていること、および朱子の『論語集注』で「旧聞く所」としていることを合わせて間違っているとしました。すでに習ったことが「故」でそれを復習するのが「温故」では、⁽²⁾徂徠に言わせれば、あまりにもの考え方がぬるいのです。

どういうことか。徂徠は過去も現在も未来も「事の変ずることは窮まり無し」、つまり何がどうなるか常に見定めがたいものととらえているのです。

その世界をこぎわたる確実な術などない。そのことを聖人孔子はよく分かっている。ところが朱子や仁斎は、教室で先生に何もかもよく教えてもらえれば、世の中をじゅうぶんに渡れる人間はいくらでも育てられると錯覚しているところがある。

Aの世界に対する認識が朱子や仁斎は弱い。世界の確実性をそれなりに疑っていないから、習ったことを復習するとよく分かり、新しい事態にも対応できてうまく運べるなどと、⁽³⁾「安全神話」のようなのんきな口調で君子然として言っている。

徂徠はもつと危機的に物事を考えます。セツパ詰まっている^(a)というか、ギリギリというか。

たくさんのことを学んで、センスを磨いて、それでも何とかなるかどうか。政治も社会も経済も一寸先は闇。その苦しさに

めげず、不安に慄き^{おの}すぎて立ちすくまないように、学問をする。その学問の^ア、思考の^アこそ「故」です。

徂徠は「故」の字を、先生の教えてくれたことではなく、「国の故」、「天下の故」、「幽明の故」、「典故」、「故実」の「故」であると言います。この場合の「故」は、和語に読み下せば「こと」や「もと」でしょう。「国の故」なら「国のこと」、「天下の故」なら「天下のもと」と読める。「もと」は基や本でもあります。元は大元や元素の元ですけど、元国会議員とか元公務員とかでも元です。つまり、^B「もと」。「国の故」とは国の故事来歴、「天下の故」とは世界の故事来歴と解することができます。

徂徠は述べています。「凡そ先世の伝ふところの者は、皆之を故と謂ふ」。そう、先の世のこと、昔のことで、伝わっている事柄は、みんな「故」だとするのが徂徠の解釈なのです。まさに故事来歴の故。それは今日の言葉でいえば歴史に他ならないでしょう。先生から習ったことを復習するのが「温故」ではない。過去にあったさまざまなことを学ぶ。あらゆることを知ろうとする。^イ卷の書物をひもとく。国^⑤のリレキを、世界のリレキを、さまざまな時代や人や仕組みの詳細を知る。それが^④「温故」。

「新」については、徂徠は仁斎と同じではないでしょうか。徂徠は言います。「新」とは「古人の言はざる所、先師の伝へざる所」を意味する。新しく習うことではなく、過去とは重ならない新しい出来事に新しい発想で対処しようとするのが「知新」だということです。習えないことが起きるのが変転極まりない世界の現実だし、^ウから学んだことを積み上げて応用すれば、簡単に対処できることではないのです。

徂徠の注釈だと、文章が簡単すぎるので、「温故」と「知新」の関係は明快に書かれているとは言えませんが、歴史を学ぶことと、歴史を学ぶだけでは対応不能な、一々がすべて新しい現在・未来を乗り越えて行く発想法を身に付けることがセットになっていることは、自明と思われれます。かくして徂徠の「温故知新」とは、歴史に学んで今を生きる力を養うことと解せるでしょう。「温故知新」で生きよう。これこそ知恵のある者の人生の処し方というものでしょう。

(片山杜秀^{もりひで}『歴史という教養』より)

問一 傍線部(1)「朱子も仁斎も間違っている」とあるが、なぜ荻生徂徠はそうのように考えているのか。その説明として最適な

ものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 11。

- ① 朱子と仁斎は、『論語』の中に孔子が書き記したことを受け売りしているだけであつたから。
- ② 朱子と仁斎は、習ったことを覚えているだけで、内容をきちんと理解していなかったから。
- ③ 朱子と仁斎は、中国古代の春秋時代の漢字の使われ方を鵜呑みにしているだけであつたから。
- ④ 朱子と仁斎は、復習することはできていたが、さまざまなかたちで学ぶことがなかったから。
- ⑤ 朱子と仁斎は、漢字が意味する内容を深く調べず、正しく解釈することができていなかったから。

問二 傍線部(2)「徂徠に言わせれば、あまりにももの考え方がぬるいのです」とあるが、なぜ荻生徂徠はそうに言うのか。その説明として最適なものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 12。

- ① 習ったことを復習するのではなく、それを実践するのがはるかに難しいことを理解していないから。
- ② 未来は過去の繰り返しではないことに思いが至らず、歴史を学んで問題を解決しようとしているから。
- ③ 何が起こるのか分からない世界は、教えてもらったことを用いて上手く対処できるほど甘くはないから。
- ④ 過去の成功事例を学んでも、それを自分も同じようにできるとは限らないことに気づいていないから。
- ⑤ 新しい事態が起こる不確実な世界を、人間の能力で対処することなど無理であると分かっているから。

問三

空欄

A

に入る最適な語句を選び、その番号をマークしなさい。解答欄は

13

。

- ① 千差万別 ② 行雲流水 ③ 前人未踏 ④ 有為転変 ⑤ 支離滅裂

問四

傍線部(3)

「安全神話」

とあるが、これはどういうことか。その説明として最適なものを選び、その番号をマークしなさい。

い。解答欄は

14

。

- ① 確かな根拠もないのに、絶対に安全だと思い込んでいること。
 ② 自分の能力を過信し、危険に対処できると自負していること。
 ③ 危険に遭遇しても、安全を確保できるように準備していること。
 ④ 何が起こるか分からないが、楽観的に生きようとしていること。
 ⑤ 危険が差し迫っていることなど知らずにのんびりしていること。

問五

空欄

ア

、

イ

、

ウ

に入る漢字の最適な組み合わせを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は

15

。

- ① ア 種 イ 万 ウ 昔
 ② ア 芽 イ 圧 ウ 昔
 ③ ア 種 イ 圧 ウ 師
 ④ ア 芽 イ 一 ウ 昔
 ⑤ ア 種 イ 万 ウ 師

問六 空欄 B に入る最適なものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 16。

- ① 社会の中に定着していることが ② 前にどうだったかというのが ③ 書物に書かれてあることが
- ④ 歴史として伝わっていることが ⑤ 先人の成し遂げたことが

問七 傍線部(4)「温故」とあるが、これを荻生徂徠はどのように解釈したのか。その説明として最適なものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 17。

- ① 昔はどうであったのかを、さまざまな人の解釈を比較検討しながら、習い、学ぶということ。
- ② 昔から連綿と伝えられてきた故事来歴を、現在に合うように読み替えて、学ぶということ。
- ③ 過去に起こったさまざまな事柄を、書物を開いて読むことによって習い、学ぶということ。
- ④ 『論語』や『論語集注』に基づき、漢字の意味するところを正しく習い、学ぶということ。
- ⑤ 先人たちが伝えてきた不確実な世界に対する処し方を、そのまま習い、学ぶということ。

問八 本文の内容に合致するものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 18。

- ① 習ったことを復習すれば事が足りるとする孔子の考えは間違っていると荻生徂徠は考えていた。
- ② 先人から学んだことを忠実に守って生きていくことで、一寸先は闇の現実も切り抜けていける。
- ③ 「故」の字は、朱子が生きていた時代と荻生徂徠が生きていた時代とは意味が異なっていた。
- ④ 書物を読み、さまざまな時代や人や仕組みの詳細を知れば、現在を生きる正解を知ることができる。
- ⑤ 歴史を学び、それをもとに変化の極まりない現在や未来を生きていくのが知恵のある者である。

問九 ①「セツパ」、②「リレキ」の波線部と同じ漢字を含むものをそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

解答欄は ①が 19、②が 20。

- ① ハスウを切り捨てる
- ② シラハの矢が立つ
- ③ 悪弊をダハする
- ④ 権勢をハジする
- ⑤ 台風のヨハが残る

⑥

①

エイリを目的とする

②

りに適った振る舞い

③

カンリ登用試験

④

一家がリサンする

⑤

約束をリコウする

三

次の各問に答えなさい。

問一 誤字を含むものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 21。

- ① あまりの理不尽な振る舞いに、怒り心頭に発する。
- ② 彼は追いつがる子供を邪険に扱う無慈悲な男である。
- ③ 成算があるとは思えないが、無下に断るわけにはいかない。
- ④ 慢然とではなく、真摯に取り組まなければならない。
- ⑤ 群衆を扇動して、現政権の転覆を図ろうとした。

問二 誤った読み方のものをそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は(1)が 22、(2)が 23。

- | | |
|--|--|
| (1) ① 上背(うわぜい)
④ 宗家(そうけ)

(2) ① 控える(ひかえる)
④ 伺う(うかがう) | ② 温厚篤実(おんこうせいじつ)
⑤ 有象無象(うぞうむぞう)

③ 折半(せっぱん)

② 砕く(くだく)
⑤ 阻む(ひるむ) |
| | ③ 因る(よる) |

問三 慣用句として（ ）に入る言葉が【 】にないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は

24。

【乗じる・添える・浴びる・認める・詰める】

- ① 話を（ ）
- ② 非を（ ）
- ③ 小耳に（ ）
- ④ 夜陰に（ ）
- ⑤ 興を（ ）

問四 傍線部の言葉の使い方が適切でない文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 25。

- ① その一言が社長の逆鱗げきりんに触れた。
- ② 長男である自分だけが割を食った。
- ③ 彼の発言を聞いて顔から火が出るほど腹が立った。
- ④ 子役の演技が見ている者の涙を誘った。
- ⑤ あまりのことに主人に盾をついた。

問五 傍線部の言葉の使い方が適切でない文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 26。

- ① ぬけぬけとみんなの前でウソをついた。
- ② すべからく合格することができた。
- ③ 自らの過去をとつとつと語った。
- ④ 場内はてんやわんやの大騒ぎであった。
- ⑤ あわや落選かと心配でひやひやした。

問六 対義語の関係になっていないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 27。

- ① 客人 ⇄ 配下
- ② タカ派 ⇄ ハト派
- ③ 根源的 ⇄ 派生的
- ④ 晴れ着 ⇄ 普段着
- ⑤ 召還 ⇄ 派遣

問七 同義語の関係になっていないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 解答欄は

28

。

- | | | | |
|---|------|--|----|
| ① | ひたすら | | 一途 |
| ② | 月並み | | 尋常 |
| ③ | 泥臭い | | やば |
| ④ | 繰り言 | | 愚痴 |
| ⑤ | 思案 | | 欲望 |

問八

が ㉔、㉕のカタカナの部分と同じ漢字を使うものをそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は㉔

29

㉕

30

㉔ 孟母三セン

- ① 画業に沈センする
- ② 閑職に左センされる
- ③ 立場をセン明にする
- ④ 上空をセン回する
- ⑤ 不法セン拠を続ける

㉕ 面会シヤ絶

- ① 四シヤ五入する
- ② 新陳代シヤを図る
- ③ 交通をシヤ断する
- ④ 日光が反シヤする
- ⑤ シヤ沸消毒を行う